

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年2月2日(2012.2.2)

【公表番号】特表2008-510831(P2008-510831A)

【公表日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-014

【出願番号】特願2007-530144(P2007-530144)

【国際特許分類】

C 07 C 17/23 (2006.01)

C 07 C 21/18 (2006.01)

C 07 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 07 C 17/23

C 07 C 21/18

C 07 B 61/00 300

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年12月7日(2011.12.7)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0015

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0015】

反応領域11は反応器内で触媒組成物を含むことができる。触媒組成物は触媒担体を含むことができ、及び/又は触媒組成物は活性化炭素を含むことができる。反応領域11内に提供された触媒組成物はPd、Cu及び/又はNiを含むことができ、及び/又は触媒組成物はPdとCuの両方を含むことができる。触媒組成物がPdとCuの両方を含むとき、触媒組成物は少なくとも約0.6%(wt/wt)のPdを含むことができ、及び/又は触媒組成物は少なくとも約5.5%(wt/wt)のCuを含むことができる。他の実施例によれば、触媒組成物はニッケルを含むことができ、例えばニッケルは触媒組成物の少なくとも約5%(wt/wt)である。その他の触媒組成物には、Prical CZ 29/4、Al₂O₃、ZnO、CuO、(シネティックス社(英国クリーブランド、ビリンガム、私書箱1、TS23、1LB);タケダカーボン(日本国東京都中央区日本橋2丁目12-10、生活環境社)上の7%FeCl₃;FeCl₃(インハウス及び/又はZnCl₂(インハウス));並びに、0.6%Pd/5.5%Cu及び/又はNi(エンゲルハード社、1.5mmカーボン上の5%Ni)のごとき、エンゲルhardt社(29678米国サウスカロライナ州セネカ、エンゲルhardtドライブ554、化学触媒グループ)から得られる触媒組成物が含まれる。